

聖霊降臨節第15週 主日礼拝

2016年8月21日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 子ども向け夕拝(午後7:00～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『マタイの福音書』20章25-28節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌22「御神の愛をば」	・(前方スクリーン参照)	・一
※信仰告白	「使徒信条」	(前方スクリーン参照)	一
代表祈禱		司会者	
感謝の賛美	新聖歌209「慈しみ深き」	・(前方スクリーン参照)	一
聖書朗読	『申命記』34章1-12節(旧約368頁) 『ヨシュア記』1章1-9節(旧約369頁)	司会者	
黙想		一	同
礼拝説教	「渡されたバトン」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌233「驚くばかりの」	・(前方スクリーン参照)	・一
感謝の献金	(新聖歌58)		一
感謝祈禱		横堀 正美兄	
諸案内	(来信および集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介、諸報告および暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こそぞりて」	・(前方スクリーン参照)	・一
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	・(前方スクリーン参照)	・一
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会・説教：近伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	献金：沼田佐代子姉
司会	片山 勝三兄	音響：山崎 敬典兄	CS担当：片山 初子姉
集会	横堀 信子姉	映像：笹川 清子姉	掃除：長谷川睦子姉
(フォロー)	渡邊 智子姉	(フォロー) 片山 浩司兄	
		録画：近伸之牧師	

説教メモ

- 1) 約束の地に入れなかったモーセ。しかし永遠の命は確かに受け取った。私たちはどちらを優先するか。
- 2) ヨシュアは過去を批判せず、過去そこにいる者としてモーセを継承した。過去を認め、愛することは大切。
- 3) 神はヨシュアに、律法の言葉を口ずさみ実行することを命じた。ただ神のみことばだけが私たちの命綱。

先週のみことば

「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」(『申命記』6章5節)

今週のみことば

「わたしはあなたに命じたのではない。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである」(『ヨシュア記』1章9節)

(牧師のサイン)

個人、団体からの来信

2016年8月21日

希望の園より機関紙「希望」第63号/
ブラジル宣教師、浜田先生ご家族よりニュースレター「ブラジリアの風」No.10/
新津教会より、「チャペルコンサート」の案内[10月22日(土)19:00開演 入場券¥1,000。(小学生以上)]

先週の集会出席者数

8/14(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子1 高校男子- 男児1 成人男性- 幼児女子1 小学女子2 中学女子1 高校女子- 女児4 成人女性2	
	第一礼拝	男2 女4 計6	※月に一回、実用書道教室を開催
	第二礼拝	男13 女19 計32	8/15(月) 月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児- 女児5	8/17(水) 新潟山形療養会 男4 女6
	※夕拝はしばらく休会としています		8/19(金) しゃべり場タビタ 男- 女5 男児1 8/19(金) 金曜祈禱会 男- 女4

諸集会のご案内

		※8月の実用書道教室は夏期につき休会です。	
8/22(月)		月曜家庭集会	(休会)
8/24(水)	午後7:30	『サムエル記 第二』22章1~20節より分かち合い	司会：片山 初子姉
8/26(金)	午後1:30	しゃべり場タビタ 渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
8/26(金)	夜	金曜祈禱会 教会堂	

8/28(日) 聖霊降臨節第16週			
第一礼拝	司会：近伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	
午前8:00	説教	献金：沼田佐代子姉	
教会学校	午前9:00	担当：佐藤 繁実兄	
歓迎礼拝	午前10:30	賛美・音響：賛美チーム	感謝祈禱：片山 敬子姉
		録音：片山 勝三兄	
		映像：近伸之牧師	掃除：片山 敬子姉
		録画：近伸之牧師	
		第1部：賛美チームによる賛美	
		第2部：『マタイの福音書』14章22~33節	応答：233
		(献金：58) 頌栄：61 派遣：54	(後奏：59-7)
		午後2:00より当教会礼拝堂において賛美練習を行います。	
		※アブラハムのしもべ会主催で、午後4時より新津福音キリスト教会においてバーベキューを行います。	
		諸般の事情により、主日の夕拝をしばらくの間休会とします。	

報告

1. 本日の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。礼拝後は愛餐(昼食)の時を持ち、午後2:00よりカナン訪問を行います。また、午後7時より子ども向けの夕拝を行い、一泊二日でお楽しみ子ども会を開催いたします。
2. 今週の予定
今週25日(木)近牧師は東京での会議に出席します。前日には上京するため、水曜祈禱会ではみことばの分かち合いと救済の時を持ちます。よろしくをお願いします。
3. 先週の来会者 [8月14日(日)主日礼拝に出席]
磯辺江里奈さん(敬和高2年)、石塚 楓さん(敬和高3年)、志田香奈江さん(敬和高3年)、辻 美緒さん(敬和高3年)、渡辺聖輔くん(敬和高3年)、西川幸作氏、北條 恵先生、北條 永くん、北條 雅さん(CSと礼拝に出席)

「人間にとって最大の幸福は、生まれないことであり、第二の幸福は早く死ぬことである」と言う人がいます。「たしかに、それは言えてる!!」なんて同感される方、いらっしゃるでしょうか。私も若いころ、失恋、受験の失敗、病気などで「死にたい!」と弱音を吐いたことが何回もあります。

私の教会に来ている小学生たちに、今まで人間をやってきて(といっても小学生ですから七年とか十年なのですが)楽しいこととつらいこと、どちらが多かったか、と尋ねたことがありました。そしたらなんと、楽しいことが多かったという子どもはひとりもいませんでした。もちろん、楽しいこと、うれしいことがなかったわけではありません。でも、振り返ってみると、やっぱりつらいことのほうが多いなあというのが実感のようでした。

まあ、子どもたちのつらさの内容というのは、宿題が出過ぎたとか、テストがあったとかいうのですが…。しかし、友だちや人間関係のことで、人知れず悩んでいる子どもたちも少なくありません。ですから、三十年、五十年、と生きてくると、ふっと人間をやめちゃいたいなんて思うことだってあるわけです。

作家の小峰元さんは、このように言っています。「生きるということは、死に対する戦いであると思う。人間はいずれ死ぬ。必ず死ぬのなら、無駄な抵抗はやめたほうがいいという考え方もあるだろう。けれど、意義のある抵抗や戦いだって、あつていいのではないか。」

キリストは言われました。
「あなたがたは、世にあつては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝つたのです。」

(『ヨハネの福音書』16章33節)

この世の中の多くの戦いを見据えて、雄々しく勇敢であれと言われたキリストは、この世の人生を生きぬき、最大の苦痛、十字架の死を通りぬけ、三日目に甦られたのです。そして、あなたをご自身の勝利にあずからせてくださろうとしているのです。キリストこそ私の救い主だと確信する時、その信仰によって、私たちはキリストの勝利にあずかることができるのです。

はつあき 初秋の
いなご 蝗つかめば
やわら 柔らかなき
（芥川龍之介）

「初秋」は秋の初めで、立秋を過ぎた新暦の八月にあたる。まだ暑さは続くものの、日差しや雲の色、風の音や身辺起居にどことなく秋を感じるようになる。



2016年度教会目標

「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「機会のあるあだに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30～6:00 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



8/27(土)「楽しく歌って元気に!!」
森祐理さん(右)、関根弘興牧師(左)

この5月に、長野県にある恵みシャレ一軽井沢で「森祐理さんと一緒にやってみよう～祐理さんと楽しく歌って元気になろう!!」というセミナーを行いました。「ライフ・ライン」と恵みシャレ一軽井沢との共同企画によるこのイベントは、今年2年目を迎えます。福音歌手の森祐理さんの歌のセミナーの様子と関根弘興牧師の聖書のお話を二週にわたりお届けします。



Broadcast for **Expanding Gospel into Niigata**
BEGin。ここから始まる、あなたの伝道。

私たち**豊栄キリスト教会**は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

